

# 金沢市議会意見交換会

～ 金沢らしい都心軸の形成を目指して～

平成28年11月22日

1

## 金沢市集約都市形成計画

### 1. 計画策定の背景

#### ● 何が問題なのか？

人口減少によりまちの活力が低下し、生活が不便に

～ 今、真剣に考え、将来起こり得る問題を未然に防ぐ～

- 全国の都市と同様に、本市でも少子・高齢化とそれに伴う人口減少が進行、まちの活力や賑わいの低下が懸念
- このまま進むと、空き家・空き地の増加によるまちの空洞化、公共交通の廃止（クルマが無いと生活できないまち）、商店や病院などの生活関連施設の撤退、地域コミュニティの希薄化など、市民生活に大きな影響が・・・

2

## 2. 計画策定の目的

### ● まちをどうすれば良いの？

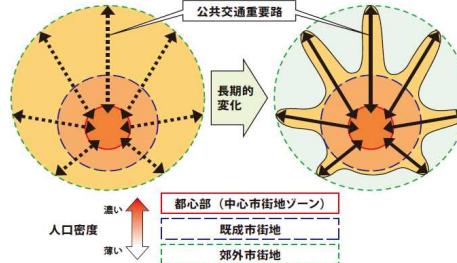
#### 拡がり続けてきたまちを少しずつダイエットする

～住む場所や各種施設を適切な場所へ誘導～

- 人口減少・超高齢社会に対応した「質の高い都市構造」への転換
- 土地利用と都市構造の両面から「都市の使い方」を見直す

持続的に成長する都市構造の実現

▼都市構造の緩やかな変化の予測  
(金沢市都市計画マスターplan 2009)



3

## 3. 計画が目指す将来都市像

### ● 将来的にはどうなるの？

#### 持続的な成長を支える「軸線強化型都市構造」への転換

～まちなかを核とした魅力ある集約都市の形成～

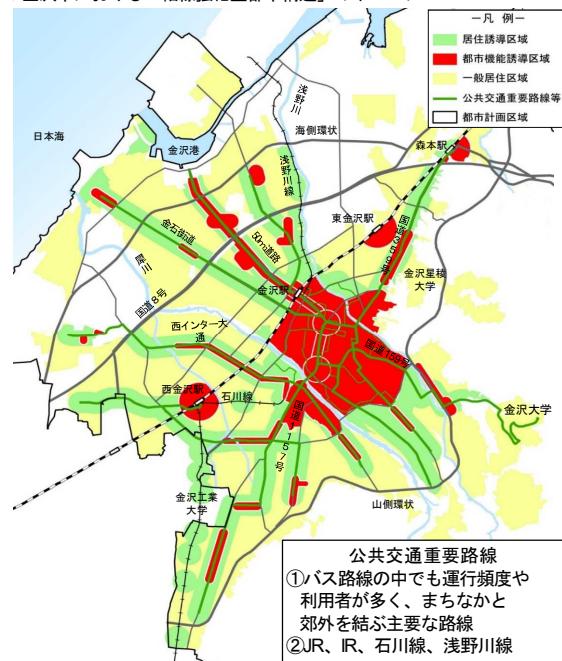
- 居住誘導区域：今後新たに住む人や市内外から移り住む人を誘導  
→「まちなか」や「公共交通が便利な場所(公共交通重要路線沿線)」「歴史的な町並みが守り活かされているところ」など
- 都市機能誘導区域：便利な暮らしを支える拠点となるよう各種施設を誘導  
→居住誘導区域の中で、商店やオフィス、病院などの都市機能がすでに集まっており、これからもその度合いを高めていくべきところ
- 一般居住区域：その他の市街地  
→クルマや自転車での移動を主体に、既存のインフラを活用することにより、これまで通りの暮らしを維持

※「誘導」とは、長期的に、緩やかに、住む場所や各種施設の立地を推奨していくことで、強制的に集めるものではない

4

#### 4. 誘導区域等の設定概要 ～居住誘導区域・一般居住区域～

##### ▼金沢市における「軸線強化型都市構造」のイメージ



##### ▼居住誘導区域・都市機能誘導区域の設定方針

###### 居住誘導区域

- ・住む場所や様々な施設を誘導
- ・多様な移動手段が選べる便利な暮らし

###### 都市機能誘導区域

- ・居住誘導区域の中で様々な施設を誘導していく区域
- ・居住誘導区域内での活動を支える拠点的役割
- ・まちなか、JR・IR駅周辺、駅西50m道路沿道、既存の商店街や商業地域を指定

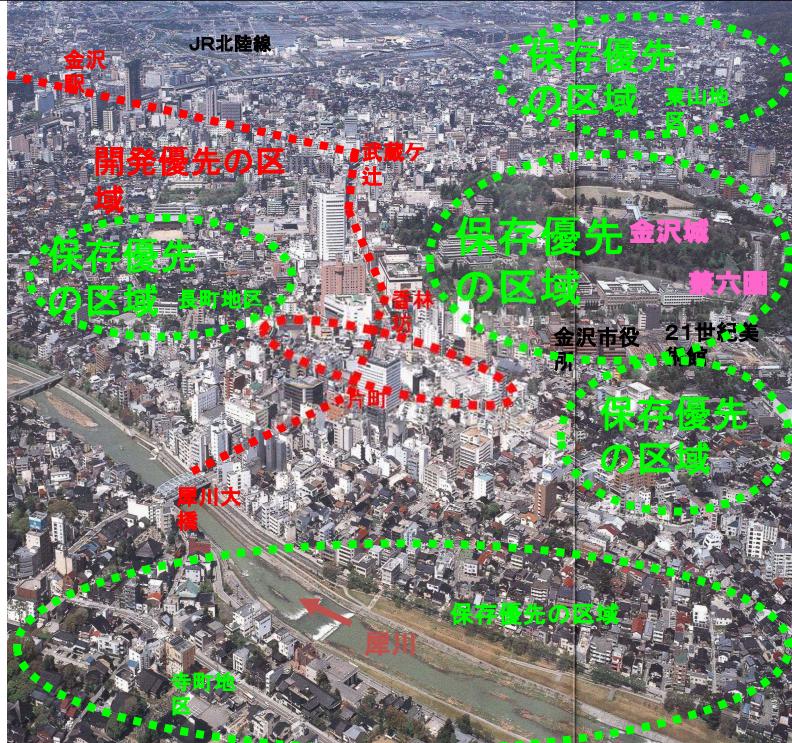
※将来にわたり本市の居住の柱として、公共交通サービスの強化のほか、住宅や都市機能の立地に関する支援等を予定しています。

##### ▼居住誘導区域・一般居住区域の設定方針

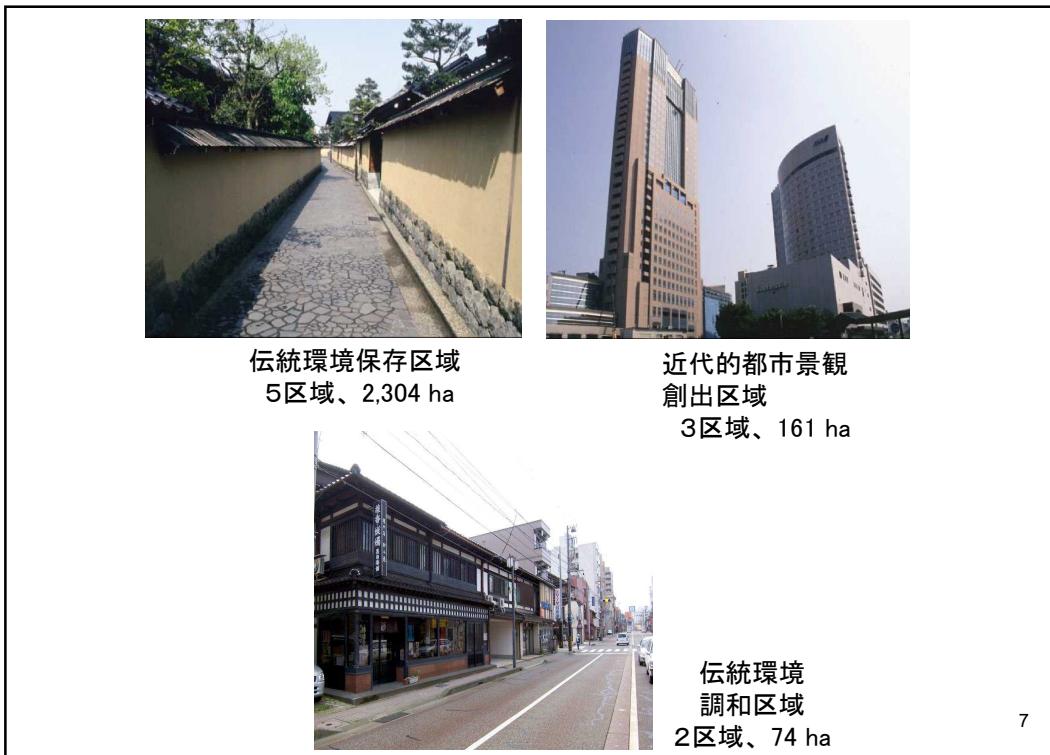
###### 一般居住区域

- ・これまでの暮らしの維持
- ・クルマや自転車での移動が主体

5



6



**金沢駅武蔵南地区における市街地再開発の促進**

現況写真

街区整備計画（平成26年度策定）に基づき、歴史資産を生かした魅力ある再開発事業に向けた事業計画の策定を支援

■ 事業計画（概要）

・所 在 地	安江町地内
・施 行 方 法	組合施行予定
・権 利 者 数	21件
・区 域 面 積	約 0.5ha
・用 途	商業施設、共同住宅
・敷 地 面 積	約 2,250m <sup>2</sup>

■ スケジュール（予定）

平成26年度	街区整備計画策定
平成27年度	準備組合設立、基本設計
平成28年度	都市計画決定、事業計画策定
平成29年度	事業計画認可、組合設立認可、実施設計、権利変換計画認可、既存建物解体工事
平成30年度	建築工事
平成31年度	建築工事完了、組合解散





金沢駅  
金沢駅武蔵北地区市街地再開発事業  
金沢駅武蔵南地区市街地再開発事業  
金沢駅南地区市街地再開発事業  
金沢駅西地区市街地再開発事業  
武蔵ヶ辻周辺市街地再開発事業  
(近江市場)

(現況)



区域面積  
約0.5ha

(計画案)



敷地面積  
約0.5ha

## 都心軸を中心とした市街地開発の方向性

- ①市施工 → 地域主体の再整備に行政が支援
- ②市が定める集約都市形成計画に沿い、  
都市機能誘導区域に必要な都市施設を集積
- ③「エリアマネジメント」によるまちづくりの一環として、
  - ・地域資源の活用や景観に配慮した再生計画を立案
  - ・共同建替え、用途変更、耐震化を段階的、連鎖的に実施
- ④国、県、市の様々な支援策を活用

(市街地再開発事業、耐震改修補助制度ほか)

11

## ■本市の建築物の耐震化の取組(補助制度)

### 平成16年 市既存建築物耐震改修工事費等補助制度を創設

- ・耐震診断、耐震設計、耐震改修工事に助成
- ・補助条件

昭和56年5月31日以前に建築されたもの

(旧耐震基準)

#### 耐震診断

建物がどれだけの耐震強度があるのかを調査・確認をする

#### 耐震設計

診断結果に基づいて、構造的に弱い箇所を補強するための計画を立てる

#### 耐震改修工事

補強計画に基づいて、補強工事を実施する

12

平成24年 市既存建築物耐震改修工事費等補助制度を改定  
緊急輸送道路沿道建築物の限度額を  
1億円へ引上げ（都心軸も該当）

◆非木造の耐震補助制度の主な内容

	耐震診断	耐震設計	耐震改修工事
一戸建て住宅	2/3（補助率） 20万円	2/3（補助率） 10万円	2/3（補助率） 170万円
共同住宅・ 長屋・寄宿舎	2/3（補助率） 200万円	2/3（補助率） 100万円	2/3（補助率） 100万円/戸 かつ 1億円
緊急輸送道路 沿道建築物 ※	2/3（補助率） 200万円	2/3（補助率） 100万円	2/3（補助率） 1億円
上記以外の建築物	1/3（補助率） 100万円	1/3（補助率） 50万円	7.6%（補助率） 2,000万円

※ 倒壊時に前面道路の過半を閉塞する建築物(6m以上)

13

■緊急輸送道路（避難路）の耐震化



## ～金沢らしい都心軸の形成を目指して～

### 【まちづくりの将来ビジョン】

- 集約都市形成計画

### 【これまでの取り組み】

- 都市景観
- 再開発事業と市街地開発の今後
- 建築物の耐震化の取り組み

15

### 有識者 及び 関係団体の意見

### 有識者 及び 関係団体との意見交換

- ・金沢大学 理工研究域環境デザイン学類講師 小林 史彦 様
- ・金沢星稜大学 経済学部 准教授 佐野 浩祥 様
- ・金沢星稜大学 経済学部 教授 曾我 千春 様
- ・松下建築構造設計 代表 松下 正 様
- ・近江町市場商店街振興組合理事長 吉村 一 様
- ・片町商店街振興組合 副理事長 小間井 隆幸 様

## 意見交換のお願い事項

- ① 発言を希望する方は挙手をお願いします。
  - ・ 係員がマイクをお持ちします
  - ・ 意見を述べる前に、お住まいの町名とお名前を言ってください
  - ・ できるだけ端的にまとめて発言していただくようお願いします
- ② 議会として開催している意見交換会ですので、議員の個人的な見解は述べないこととしておりますことをご了承願います。
- ③ 本日の交換会の内容は、後日、金沢市議会のホームページに掲載いたします。

## 次回の意見交換会

- **12月定例月議会(12月5日(月)～19日(月)開催)**後に行う予定です。
- 開催日時等の詳細が決まりましたら、金沢市議会ホームページに掲載します。

**本日は、ご参加いただき  
ありがとうございました**